

於 二宮町教育委員会事務局

平成26年8月29日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 10時 00分
2. 閉会時間 12時 25分
3. 委員長名 小 林 徳 博
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	小 林 徳 博
2	○	蓮 實 茂 夫
3	○	飯 塚 富 美
4	○	山 内 み どり
5	○	内 海 博 治

6. 出席者氏名 教育次長 宮川康廣
 教育総務課長 黒石徳子
 生涯学習課長 鐘ヶ江学
 教育総務課指導班長 下澤純二
 教育総務課指導班主幹 新井久美
 教育総務課教育総務班長 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子
 教育研究所教育支援室専任教諭 古谷秀史
 教育研究所教育支援室教育相談員 井島素子
7. 傍聴者 なし
8. 調製者 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子

平成26年度8月教育委員会定例会会議録

日時：平成26年8月29日（金）

午前10時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（委員長）平成26年度8月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

山内委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）8月事務報告を行う。

（教育次長）8月政策会議報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （山内委員）8月5日に行われた「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」は、少し携わった関係もあり、最初から最後まで見させていただきました。今年上映された「ガラスのうさぎ」のアニメは、感動的でわかりやすいものだったので、とても良かったと思います。ご覧になっていた方が少なかったことが残念でしたが、子どもたちに見せてあげたいと思う作品でしたので、ことあるごとに上映したら良いのではないかと思います。毎年どのようなイベントを行うか頭を悩ませているという話も耳にしましたが、今後は毎年このアニメを上映しても良いのではないかも思いました。
- （委員長）今年度初めて出席させていただき、上映されたアニメは良かったと思います。また、小中学生の歌等もとても良かったです。もし、今後アニメの上映を行わないのであればそれに代わる何かを行い、平和の祭典ということにつなげていけたら良いのではないかと思います。どのようなイベントを行っていくかは今後の課題かと思いますが、実行委員会で話し合ってください、ぜひ有効な会にしていきたいと思います。また、先程教育長より今後の小中一貫教育に関するお話がありましたが、そちらについては今後改めて話し合う機会を持っていただければと思います。
- （蓮實委員）8月24日の総合防災訓練についてですが、中里地区では安否確認の訓練を行いました。訓練には5名の中学生が参加し、最初は何をしたら良いのかわからない様子でしたが、そのうちに、「火消し君」を使った消火活動に参加したり、安否確認を手伝う訓練を行ったりしていました。参加した中学生の保護者が町防災安全課から各中学校保護者あてに発せられた文書を持っていたので見せていただきました。学校でも協力してくださったということだと思のですが、地域に中学生を受け入れる体制が出来ていなかったということは、「中学生防災班」を作り

中学生の役割を重要視するという町の意図が浸透していなかったのではないかと思います。今後は、再度その辺りも徹底していただけたらと思います。なお、中里地区では今後独自に防災訓練を行う予定で、その際にはさらに訓練項目を増やして活動を実施するようですので、しっかり連携し、子どもたちが参加しやすい環境を整えていけたらと感じました。

- （委員長）防災安全課から中学生の参加を呼び掛けているので、そちらでも反省が出ているのではないかと思います。せっかく参加しても何をしたら良いのかわからないという状況では参加をためらってしまうようになりますので、調整をお願いします。地域では地域内の中学生の人数等は把握しているのでしょうか。
- （蓮實委員）地区内のPTAは把握していると思います。
- （委員長）自主参加の中学生も活動出来る雰囲気作りが大事だと思いますので、よろしくお願いします。
- （蓮實委員）現場に到着したら役員に声を掛けてくださいとは書いてありましたが、なかなか声を掛けづらかったのかなと思います。
- （委員長）学校も文書の配布だけになってしまっているのかもしれないですね。各地区の防災訓練では中学生がどのように参加出来るかが課題になってくるかと思いますが、反省を積み重ねて、今後に備えていただければと思います。
- （教育総務課長）状況を把握し、防災安全課に呼び掛けていきたいと思います。
- （飯塚委員）上町地区では、消防団の方が消火栓を開いて消火作業を行うという訓練を実施していました。中学生は上町・中町併せて20名以上参加していたのですが、最初はやることのないような様子でした。今後は、防災安全課でプログラムを提案していただき、1年ごとに各地区でそれを実施し、色々なプログラムで訓練を重ねていく中で地域に合ったものを見つけていくということにしても良いのではないかと思います。なお、やることのないのではということで、中学生たちも消火栓を開いて消火作業を行うという体験をさせていただいていました。
- （教育次長）防災安全課にご意見として伝えておきます。
- （委員長）来年に向けて調整していただくよう、お願いします。
- （蓮實委員）7月26日から28日にかけて行われた子ども野外研修では、怪我をした子どもはなかったが熱中症の症状が出た子どもがいたとの報告がありましたが、どの程度の症状だったのですか。
- （生涯学習課長）身体が怠い・頭が痛いという症状で、水分補給や身体を冷やして数時間安静にしていたら治ったというものでした。
- （蓮實委員）救急車の要請等はなかったということですね。
- （生涯学習課長）症状の出た子どもは5名程いたのですが、救急車を要請するような重い症状の子どもはいませんでした。
- （委員長）暑い時期ですので熱中症対策は大切ですが、今回はきちんと対応が出来たということで良かったと思います。さて、小中一貫教育について、検討にあたっては施設関連・経費関連・地域連携というような課題がありますが、現時点で、二宮町としてどのように検討していくという構想はあるのですか。
- （教育長）あくまで私案ですが、3期に分けて検討していく必要があると思っています。第1期で情報収集・要望調査・国の動向調査・先進事例の視察等を行って問題点を洗い出し、第2期で

小中一貫教育の具体的な手法の検討、第3期で町民感情の統一や予算・場所等についての総合的な検討を行うという形が良いのではないかと考えています。なお、第1期に並行して、教育委員会としては、小中一貫教育に向けて小学校・中学校の連携を徹底的に行っていく必要があると思います。この時期にしっかりと検討していくことになるのではないかと考えていますが、国の動向等を鑑みると、小中一貫教育は必要ではないかという考えは持っています。

- （委員長）現在小学校・中学校連携を実施している中でも課題はあると思いますので、その積み重ねが大事になってくると思います。施設の老朽化も今後の方向性を示すうえでの検討材料となりますし、小中一貫教育の有効性は感じているのですが、流行に流されることなく、本当に小中一貫教育が良いものなのかをしっかりと見極めていかなければいけないと思います。また、現在それぞれの学校においてしっかりと運営されているので、それを崩してまでとなると簡単にはいかならないと思いますし、地域の現状と施設との関係を兼ね合わせて考えていく必要があると感じています。
- （教育長）現在二宮の教育は上手くいっていますので、それを崩してということになると慎重な検討が必要であると思っています。
- （委員長）小学校と中学校が距離的に近い場所にあってもなかなか交流が出来ないということは現実にあるので、まず何が出来るかについて考えていくことが大切だと思います。
- （運實委員）お話を伺い、改めて様々な角度から検討していく必要性を感じましたが、方向性としてはそちらでよろしいのではないかと思います。
- （委員長）新教育委員会制度についてはどのような流れになっているのでしょうか。
- （教育長）平成27年4月1日から施行になるとのことですので、今後お話しをさせていただきたいと思います。
- （運實委員）全国学力・学習状況調査の公表方法について新聞等で話題となっていますが、二宮町としての今年度の公表の方向性について教えてください。
- （教育総務課長）学校別の状況については公表しない方向です。ただし、町全体の状況については分析作業を行った後に公表するという方向で考えています。

— 付議事項 —

議案第11号 平成26年度二宮町一般会計補正予算（案）について

非公開

— 報告・協議事項 —

（1）二宮町教育委員会点検及び評価実施要領の制定について

（教育総務課教育総務班長）二宮町教育委員会点検及び評価実施要領の制定について説明。

（2）平成26年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について

（教育総務課教育総務班長）平成26年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について説明。

- （蓮實委員）「第1章 教育委員会の活動状況について」の「1 教育委員会議の運営状況」の備考欄にある回答事項には、事務報告に対する回答事項が記載されています。会議では報告・協議事項等についても意見交換を行いました。そちらについては記載しなくて良いのでしょうか。
- （教育総務課教育総務班長）紙面の都合もございますので、会議の詳細については町ホームページにて公開している会議録をご確認いただき、点検及び評価報告書は総合的にまとめたものとして主なご意見等を記載させていただくこととしました。
- （委員長）今年度より、教育委員会議の実施状況を点検及び評価実施要領第4条の評価の観点から評価することとなり、教育委員会議の目的を基に評価していかなければならないかと思っています。
- （教育総務課長）本日お示しした事務局案は、会議で活発な意見交換が行われて議案等を適正に処理出来た点は良かったが、より開かれた会議に向けて改善していく点もあるということで、「B」の評価とさせていただいたものです。こちらについては委員の皆様からご意見をいただければと思っています。
- （委員長）教育委員では評価しづらい部分もありますので、部内評価をしていただければよろしいかと思います。今年度の点検及び評価報告書は、昨年度までと比較すると、全体的にわかりやすくなって良いと思いました。重点が決められ、そちらについて報告があり、成果・課題をまとめ、評価を行うという一連の流れが出来ている点が工夫され、わかりやすくなっています。点検評価シートが有効であると感じていますが、その中で、評価にあたっては、評価基準を主観的に見るか客観的に見るかという問題もあり、AからDの基準では評価しづらい部分もあるので、数値的に評価出来ない部分は言葉によって評価を行うこととしても良いのではないかとも思いました。
- （教育総務課長）数値に置き換えられ、数値が増えたから良くなったというものが一番わかりやすいのですが、事業によっては数値では評価しづらいものもありますので、所見欄において言葉で補足するという形にしております。なお、各事業の所見欄については、なぜ「B」の評価にしたのかがわかるよう事務局内で再度整理し、改めてお示しさせていただきたいと思っています。
- （委員長）一生懸命取り組んでいますので、そちらをどのように適正に評価してあげるかではないかと思います。
- （山内委員）参考になるかわかりませんが、大学でも教員を評価する制度があります。授業を受けた学生がその教員を評価するというもので、客観的な評価となっており、ある意味納得が出来るものとなっています。
- （教育総務課長）児童・生徒や保護者、教職員に対して満足度調査を行い、その数値によって評価を行うことが一番わかりやすいのかもしれませんが、実際に実施するとなると難しいところもあります。
- （山内委員）今回示された案の点検評価シートはどのように評価をされたのですか。
- （教育総務課長）事務局内部で話し合いを行い、自己評価させていただきました。
- （山内委員）〇〇人中〇人は「A」の評価をし、〇人は「B」の評価をしたという形にしたら、よりわかりやすくなるのではないかと思います。いかがでしょうか。
- （委員長）例えば、教育委員会議の実施状況については各教育委員が観点を決めて自己反省をし、そちらを総合的に評価するというように、観点評価としたら良いのではないかということですね。
- （教育総務課長）ご提案のように、評価にあたっての判断の指標となるものがあるとわかりやす

いかと思います。

- （飯塚委員）何を観点に評価しているのかがわかりやすくなれば良いと思います。点検及び評価報告書全体としては、昨年度と比較しても見やすくなっていますので、細かい部分に修正を加えながらより良いものとし、現在の状況が把握出来るようなものや次の目標を持てるようなものになったら良いのではないかと感じています。なお、外部評価者が点検及び評価報告書をご覧になって、「B」ではなく「A」の評価ではないかというお話になった場合には点検評価シートの評価が変更になることもあるのでしょうか。
- （教育総務課長）点検評価シートの評価は自己評価ですので、外部評価者の意見によって評価を変えるということはしない方が良いと思っています。いただいたご意見は整理し、そちらを含めた形で次に取り組んでいく、見直しを進めていくということになります。
- （蓮實委員）今回点検評価シートとしてまとめたことにより、外部評価者も評価がしやすくなるのではないかと思います。
- （委員長）私たちの点検・評価ですので、教育委員会が施策に対してどのように取り組んでいったか、その結果がどうなっているかということが、点検評価シートに反映されることが大切です。そのために、点検評価シートの項目に目標・観点を明記することが必要だと思います。目標がはっきりすれば、それに対しての成果や課題が見えてくると思います。
- （山内委員）具体的な目標を掲げて、それを実行出来たかどうかという評価方法ならば評価しやすいのではないかと感じています。
- （教育長）自己評価は自分自身の反省をするために行うものだと思います。具体的な目標を掲げるというお話がありましたが、例えば学校訪問については、委員によって訪問の際に見ようと思うものは異なると思いますので、各委員が毎回目標を掲げ、それに対してどうだったかを事務局に報告するというを行っても良いのではないかと思いました。
- （蓮實委員）評価方法については様々なご提案があり、数字で示すことが出来ればよりわかりやすいのではないかと考えていますが、昨年度の報告書と比較すると、評価方法や表現方法は明瞭なものとなっていますので、今回は、提案されたものを少し手直しするという形にしてはいかがでしょうか。
- （委員長）数字で評価出来るものと出来ないものがあるので、折衷のものが出来れば良いのではないかと考えています。
- （山内委員）先程数字での評価について申し上げましたが、自己評価をするうえで目標への達成度を数字で示すとわかりやすいのではないかと提案したものです。必ずしも全てを数字で評価した方が良いということではございませんので、誤解のないようお願いいたします。
- （教育長）今年度は今回お示した形で点検及び評価報告書を作成し、次年度以降は教育委員会制度の変更等も鑑みながら検討していけたらと思います。
- （教育総務課長）教育委員会事務局の活動状況に係る点検評価シートについては、自己評価するうえで目的がないと評価しづらいところもございますので、各項目の中に目的を入れ、所見欄の記載内容を見直したものを改めてお示しさせていただければと思います。また、その他のご意見もいただければと思いますので、よろしく願いいたします。
- （飯塚委員）昨年度の外部評価で専門用語がわかりづらいとのご指摘をいただいていますので、口頭でも説明をされた方がご理解いただきやすいかと思います。

○（委員長）では、自己評価については来年度の課題とし、今年度は基本の形は今回示された案のままとして、事務局で各項目の目的をはっきりさせる形に修正いただき、各委員は何か付け加えることがあれば9月5日までに事務局に連絡するというので、よろしくお願いします。

（3）教育支援室教育相談活動について

（教育支援室専任教諭）教育支援室教育相談活動について説明。

○（委員長）内容別の相談では不登校に関するものが71件あったとのことですが、こちらには教育支援室の通室生に係る相談の件数も含まれているのですか。

○（教育支援室教育相談員）はい、通室生に係る相談も件数に含めています。

○（委員長）通室生に係る相談が多いのでしょうか。通室生に係るもの以外の相談はどのくらいあるのか教えてください。

○（教育支援室教育相談員）通室生に係る相談ばかりということもなく、学校や保護者からの相談も少なくはありません。

○（教育支援室専任教諭）昨年度は通室生に係る相談も多くあったのですが、今年度については半分以上が通室生に係るもの以外の相談案件でした。

○（委員長）近年いじめについて大きな話題となっていますが、いじめに関する相談は0件だったのですか。

○（教育支援室教育相談員）以前は教育支援室に直接相談に来られる保護者もいたのですが、今年度は現在のところ0件です。ただし、学校を訪問した際に、教諭のいない場所で見かけた子どもたちの様子を見て、何か気が付いたことがあった場合には学校に報告することもあります。

○（委員長）巡回訪問等を積極的に行っていただき、ありがとうございます。大切な分野ですので、今後ともよろしくお願いします。

（4）その他

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務課教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

（委員長）平成26年度8月定例教育委員会議を終了いたします。